



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年10月29日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <https://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 剛一
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 高島 幸宏 (TEL) 03(3231)6811
 四半期報告書提出予定日 2021年11月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	33,437	10.8	3,153	△11.3	3,257	△13.2	2,238	△10.8
2020年12月期第3四半期	30,172	△3.7	3,553	436.5	3,753	346.9	2,508	△90.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	79 68	—
2020年12月期第3四半期	89 34	89 33

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	128,751	115,887	90.0
2020年12月期	126,026	115,091	91.3

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 115,887 百万円 2020年12月期 115,081 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	24 00	—	24 00	48 00
2021年12月期	—	24 00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,900	12.5	4,500	△5.0	4,700	△5.5	3,200	△8.4	113 92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

*上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2021年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	28,800,000株	2020年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	707,557株	2020年12月期	714,558株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	28,089,571株	2020年12月期3Q	28,078,538株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	3
(3) 研究開発・導入活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりです。

	2020年12月期 第3四半期累計期間	2021年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高 (百万円)	30,172	33,437	3,265	10.8%
営業利益 (百万円)	3,553	3,153	△399	△11.3%
経常利益 (百万円)	3,753	3,257	△495	△13.2%
四半期純利益 (百万円)	2,508	2,238	△270	△10.8%

売上高は、薬価改定のほか、2020年7月に実施した佐倉工場譲渡に伴う受託製造の終了による減少があったものの、アレルギー領域における販売数量の伸長に加え、「コレクチム軟膏(外用JAK阻害剤)」の販売を2020年6月に開始したこと等により、33,437百万円と前年同期に比べ3,265百万円(10.8%)増加しました。

各フランチャイズ領域における主要な製品・商品の販売状況につきましては、以下のとおりです。

- ・腎・透析領域におきましては、「リオナ錠(高リン血症治療剤、鉄欠乏性貧血治療剤)」が4,941百万円と前年同期に比べ170百万円(3.6%)増加し、「レミッチ(透析患者における経口そう痒症改善剤)」は薬価改定に加えて後発品の影響もあり3,780百万円と前年同期に比べ918百万円(19.5%)減少しました。
- ・皮膚疾患領域におきましては、「アンテベート(外用副腎皮質ホルモン剤)」が薬価改定の影響により3,546百万円と前年同期に比べ310百万円(8.1%)減少し、「コレクチム軟膏」は2,669百万円と前年同期に比べ2,027百万円(316.1%)増加しました。
- ・アレルギー領域におきましては、アレルギー免疫療法のさらなる普及により「シダキュア スギ花粉舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は5,687百万円と前年同期に比べ1,425百万円(33.4%)増加し、「ミティキュア ダニ舌下錠(アレルギー免疫療法薬)」は5,085百万円と前年同期に比べ1,835百万円(56.5%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は16,190百万円と前年同期に比べ1,641百万円(11.3%)増加し、販売費及び一般管理費は売上連動経費、新製品の発売等に伴う販売費用の増加に加え、パソコン更新等の一過性費用の発生等により14,092百万円と前年同期に比べ2,023百万円(16.8%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,153百万円と前年同期に比べ399百万円(11.3%)、経常利益は3,257百万円と前年同期に比べ495百万円(13.2%)、四半期純利益は2,238百万円と前年同期に比べ270百万円(10.8%)それぞれ減少しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、患者様の医療機関への受診抑制傾向が見られることや、医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛等の結果、「コレクチム軟膏」、「エナロイ錠(腎性貧血治療薬)」及び鉄欠乏性貧血の効能追加承認を取得した「リオナ錠」の立ち上がりに遅れが生じておりますが、ITを活用した適正使用情報提供活動の拡充等により対応しております。なお、当第3四半期累計期間の業績への影響は軽微です。

(2) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、128,751百万円と前事業年度末に比べ2,724百万円(2.2%)増加しました。これは、有価証券が2,124百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が2,109百万円減少しましたが、投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用が2,339百万円、商品及び製品が2,048百万円、現金及び預金が743百万円、受取手形及び売掛金が724百万円、投資有価証券が700百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、12,863百万円と前事業年度末に比べ1,928百万円(17.6%)増加しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が625百万円減少しましたが、買掛金が1,319百万円、未払法人税等が1,014百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、115,887百万円と前事業年度末に比べ795百万円(0.7%)増加しました。これは、主に利益剰余金が889百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発・導入活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は511百万円となりました。

導入活動・研究(共同)開発活動の主な進捗及び成果につきましては、次のとおりです。

(皮膚疾患領域)

アрил炭化水素受容体(AhR)モジュレーター「JTE-061」(一般名: tapinarof)

- ・日本たばこ産業株式会社(以下、「JT」)がDermavant Sciences GmbHと日本国内における皮膚疾患領域での独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結し、JTと当社が日本国内における共同開発及び販売に関する契約を締結した「JTE-061」につきましては、2021年10月にアトピー性皮膚炎及び尋常性乾癬を適応症とした国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2021年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

(4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間までの進捗状況等を勘案し、前回発表(2021年7月30日「2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の予想数値を以下のとおり修正しております。

	2021年12月期 前回予想	2021年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	(参考) 2020年12月期 実績
売上高(百万円)	46,400	46,900	500	1.1%	41,700
営業利益(百万円)	4,000	4,500	500	12.5%	4,738
経常利益(百万円)	4,200	4,700	500	11.9%	4,971
当期純利益(百万円)	2,800	3,200	400	14.3%	3,495

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響による医薬情報担当者(MR)の医療機関への訪問自粛等の結果、鉄欠乏性貧血の効能追加承認を取得した「リオナ錠」及び「コレクチム軟膏」の立ち上がりの遅れがあるものの、アレルギー領域において「シダキュア スギ花粉舌下錠」及び「ミティキュア ダニ舌下錠」の販売状況が好調に推移していることにより、前回予想を上回る見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高の増加等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,717	4,460
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	27,859	25,750
受取手形及び売掛金	18,957	19,681
有価証券	38,528	36,403
商品及び製品	4,285	6,334
原材料及び貯蔵品	2,866	3,029
その他	527	458
流動資産合計	96,742	96,118
固定資産		
有形固定資産	1,777	1,803
無形固定資産	442	527
投資その他の資産		
投資有価証券	20,810	21,510
その他	6,254	8,791
投資その他の資産合計	27,064	30,302
固定資産合計	29,284	32,632
資産合計	126,026	128,751
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,143	6,462
未払法人税等	41	1,056
賞与引当金	391	775
役員賞与引当金	13	10
返品調整引当金	3	1
その他	3,868	3,240
流動負債合計	9,461	11,546
固定負債		
退職給付引当金	948	861
その他	525	455
固定負債合計	1,473	1,317
負債合計	10,935	12,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,437	6,445
利益剰余金	104,224	105,113
自己株式	△1,407	△1,393
株主資本合計	114,444	115,355
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	636	531
評価・換算差額等合計	636	531
新株予約権	10	—
純資産合計	115,091	115,887
負債純資産合計	126,026	128,751

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	30,172	33,437
売上原価	14,548	16,190
売上総利益	15,623	17,246
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,226	2,791
給料及び手当	2,724	2,930
賞与引当金繰入額	792	753
研究開発費	457	511
その他	5,868	7,104
販売費及び一般管理費合計	12,069	14,092
営業利益	3,553	3,153
営業外収益		
受取利息	99	111
受取配当金	72	68
その他	31	25
営業外収益合計	203	206
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	2	56
投資事業組合運用損	—	44
その他	0	0
営業外費用合計	3	102
経常利益	3,753	3,257
特別利益		
新株予約権戻入益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
固定資産除却損	9	35
投資有価証券売却損	—	40
事業構造改革費用	748	—
特別損失合計	758	75
税引前四半期純利益	2,995	3,191
法人税等	486	953
四半期純利益	2,508	2,238

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。